

## 努力事項解説 その1 (小学校音楽)

「題材の目標を焦点化し、内容を厳選し、教材のねらいを明確にしましょう」  
を

A小学校4年生の題材「ひょうしとせんりつ」で考える

その1 「題材の目標」を焦点化している？

1 A小学校4年生の「ひょうしとせんりつ」という題材を例に取り、題材のねらいを焦点化しているか見ていきたいと思います。

まずは、題材の概要をご覧ください。

- 題材名 ひょうしとせんりつ
- 題材のねらい
  - ・ 拍の流れにのり、旋律のまとまりを生かして演奏する。
  - ・ 行進曲のリズムや2拍子の流れを感じ取って聴く。
  - ・ 拍子の違いを聴き取り、拍の流れにのって歌ったり聴いたりする。
- 主な学習活動
  - ・ 「エーデルワイス」の楽曲の雰囲気をつかむ。
  - ・ 3拍子の指揮をする。
  - ・ 歌詞を理解し、情景を思い浮かべて歌う。
  - ・ 楽器でエーデルワイスの主旋律を演奏する。
  - ・ 3拍子のリズムを感じながら「エーデルワイス」を歌う。
  - ・ 楽器で主旋律を演奏する。
  - ・ 楽器で副次的旋律を演奏する。
  - ・ 楽器や歌詞唱で二重奏（二重唱）する。
  - ・ 「トルコ行進曲」を聴く。楽曲について知り、身体表現をする。
  - ・ 「メリーさんの羊」「ラバースコンチェルト」の範唱を聴き、歌詞唱する。
  - ・ 4拍子の指揮を覚える。
- 評価規準
  - ・ 拍の流れ、速度、強弱を聴き取り、拍子の違いを感じ取りながら積極的に音楽に合わせて身体反応し、生き生きとした歌唱表現や器楽表現の学習に取り組もうとしている。（音楽への関心・意欲・態度）
  - ・ 旋律のまとまりや変化を生かした演奏の工夫をしたり、指揮をしたりして、どのように演奏するかについて思いや意図を持っている。（音楽表現の創意工夫）
  - ・ 拍子の違いや、旋律のまとまり・変化に気をつけて演奏したり、身体表現したりしている。（音楽表現の技能）
  - ・ 拍の流れ、速度、強弱、反復、変化を聴き取り、拍子の違いによる雰囲気の違いや楽曲の特徴を感じ取りながら聴いている。（鑑賞の能力）
- 取り扱う楽曲
  - ・ 「エーデルワイス」 ロジャーズ作曲
  - ・ 「トルコ行進曲」 ベートーベン作曲
  - ・ 「メリーさんの羊」 作曲者不明
  - ・ 「ラバースコンチェルト」 サンディ・リンザー&デニー・ランドル作曲

2 では、まず、題材の目標が焦点化されているかどうか見てみましょう。

前回、「題材の目標を焦点化する」については、次のように書きました。

「最も重要な内容」にピントを合わせましょう  
「学習指導要領の指導内容」、特に「共通事項」を含んだ内容にするのがポイント

では、学習指導要領を確認してみましょう。

- 小学校学習指導要領第6節音楽 第2各学年の目標及び内容 第3学年及び第4学年
- 1 目標 略
  - 2 内容
    - A 表現
      - (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。
        - ア 範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌うこと。
        - イ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。
        - ウ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌うこと。
        - エ 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。
      - (2) 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。
        - ア 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏すること。
        - イ 曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。
        - ウ 音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏すること。
        - エ 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。
      - (3) 音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。
        - ア いろいろな音の響きやその組合せを楽しみ、様々な発想をもって即興的に表現すること。
        - イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。
      - (4) 表現教材は次に示すものを取り扱う。略
    - B 鑑賞
      - (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。
        - ア 曲想とその変化を感じ取って聴くこと。
        - イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。
        - ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと。
      - (2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。略
- 〔共通事項〕
- (1) 「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。
    - ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。
      - (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素
      - (イ) 反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み
    - イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

3 では、「ひょうしとせんりつ」の3つの題材の目標と、学習指導要領の「共通事項」を照らし合わせてみましょう。

□が題材「ひょうしとせんりつ」の3つの題材の目標です。

⋯が学習指導要領の共通事項です。

題材の目標が、共通事項の「リズム」「拍の流れ」「フレーズ」に集約されているのが分かります。

#### 題材の目標1

拍の流れにのり、旋律のまとまりを生かして演奏する

#### 〔共通事項〕

(1) 「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。

(ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素

(イ) 反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み

イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

行進曲のリズムや2拍子の流れを感じ取って聴く

#### 題材の目標2

拍子の違いを聴き取り、拍の流れにのって歌ったり聴いたりする

#### 題材の目標3

どうでしょう? 「題材の目標」の中に、ピントはずれの内容はありませんか?。例えば「みんなで元気に大きい声で歌う。」とか「間違えないで歌えるようにする。」のようなものです。そういった内容はありませんでしたね。「題材の目標」はすべて共通事項に集約されていましたので、すべて「最も重要な内容」といえます。

つまり、この題材のねらいは焦点化されているとよいと思います。



さて、この「題材の目標」が焦点化されていることは分かりましたので、次は「内容を厳選しているか?」に進むのですが、その前に、この「ひょうしとせんりつ」の題材の目標をもう少し吟味したいと思います。

6月14日（金）ごろアップする予定です。